

# しんせう



第 114 号

2022 年 9 月  
日本野鳥の会三重  
<http://miebird.org/>



コロナ禍で通常の探鳥会も中止が続いていましたが、会員限定で実に3年ぶりの宿泊探鳥会を催行しました。コロナ対策としてバス車内はマスク着用、宿泊先は個室も格安で選択できるようにしました。

心配な天気も探鳥の際は雨に降られる事なく、高原の涼しい空気の中、鳥や植物を楽しみました。移動中の車内では参加者オススメの鳥の本や参加者撮影の鳥の写真を観覧したり、ゲームをしたり鳥のDVDを鑑賞したりと、寝る暇もなく鳥三昧。皆さん、笑顔の絶えない楽しい宿泊探鳥会でした。

## 目次

2022年6月 霧ヶ峰八島湿原と塩嶺小鳥の森	2
表紙のことば	2
霧ヶ峰探鳥会の感想	4
サンショウクイの営巣記録	5
理事会報告	5
ほのぼの鳥さん Watching	6
夏山 3題	8
ウスバシロチョウ舞うテーブルランド	9
シギ・チドリ類の年齢・季節による羽衣の変化 —連載第29回 ミヤコドリ—	10
ツバメの見守りありがとう 伊賀・「道の駅いが」へ感謝状	15
会報の国会図書館納本について	15
野鳥記録	16
日本野鳥の会三重 2021年度総会 報告	18
探鳥会予告 (2022年10月～12月)	19
事務局だより	20
探鳥会報告 (2022年4月～2022年7月)	20
編集後記	24



## 表紙のことば

### クサシギ

度会町 小坂 里香

クサシギは越冬していることも多いので、当地では渡り鳥というより冬鳥ですが、そう数も多くなく、ひっそりと孤独にたたずんでいるイメージで、なんとなく心惹かれるシギです。なにより絵に描こうと思ったときに背の模様がシンプルなのがいいです(笑)。

キアシシギに次いで地味なシギの代表といえます。よく似たタカブシギと比べると眉班がはっきりせず、アイリングが目立ちます。なんとなく全体がグリーンぽく、クサシギの名前の由来はわかりませんが草という漢字がぴったりな気がします。

## 1日目

### 霧ヶ峰八島湿原

松阪を 6.30 発で津駅→桑名駅、桑名東 IC から高速へ。途中諏訪湖で昼食。

八島湿原 (探鳥) 13:30 ~ 17:00

ノビタキがたくさん飛び回り、カッコウの囀りが響きます。のんびりチームとイケイケチームに別れそれぞれのペースでコースを回りました。カッコウを初めて見る人も数名いました。



すまし顔のノビタキ♂

てっぺん好きのカッコウ



## 2日目

### 車山高原ホテル周辺早朝探鳥

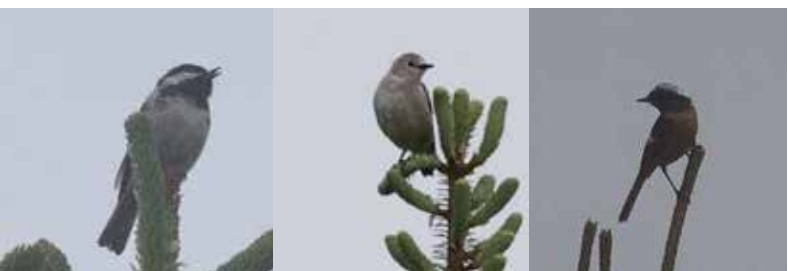
早朝探鳥会は 5 時集合。自由参加でしたが全員参加でした。天候は濃い霧に包まれ、さすが霧ヶ峰。白くかすむ中でもたくさんの鳥を観察することができました。

こんな高原にアオサギが? という驚きや、コムクドリの愛らしさに和む中、一番参加者を沸かせたのは、冬に身近に会えるジョウビタキの登場でした。

### 塩嶺小鳥の森自然公園

宿泊先を 8 時発、塩嶺小鳥の森へ向かいます。美しい森の中、さまざまな小鳥の声があちこちから聞こえます。しかし新緑の中、なかなか姿を見つけることができません。そんな中、道の脇に咲く花や草にとまる昆虫との出会いがありました。鳥だけでなく植物や昆虫の知識も豊富な方がいるのは素晴らしいことだと感じました。

途中駒ヶ根で昼食をとり、帰路につきました。無事松阪に 19 時着。皆さんのご協力のもと無事宿泊探鳥会を終えることができました。



囀りの大サービスのヒガラ♂

キュートなコムクドリ♀

注目の的のジョウビタキ♂



鳥の写真提供 中西 章さん

### 探鳥会としての記録

2022年6月10～11日

1日目：八島湿原 2日目：塩嶺小鳥の森

参加者：19名(会員19名)

#### 探鳥会名：霧ヶ峰八島湿原

キジ カルガモ ホトトギス カッコウ アカゲラ モズ ハシブトガラス ヒガラ ヒバリ ウグイス ノビタキ イカル ホオアカ アオジ 計14種

#### 探鳥会名：車山高原ホテル周辺

キジ アオバト アオサギ ホトトギス カッコウ

モズ アカゲラ アオゲラ カケス ハシブトガラス シジュウカラ ヒガラ ヒヨドリ ウグイス コムクドリ イカル ホオジロ ジョウヒタキ ゴジュウカラ キセキレイ カワラヒワ キビタキ 計22種

#### 探鳥会名：塩嶺小鳥の森

ホトトギス トビ コゲラ サンショウクイ シジュウカラ サンコウチョウ カケス ハシボソガラス ヤマガラ ハシブトガラス コガラ ヒガラ ヒヨドリ ウグイス ヤブサメ エナガ メジロ センダイムシクイ キビタキ ホオジロ キバシリ 計21種

## 霧ヶ峰探鳥会の感想



伊勢市 小森 珠代

2022年6月10日より1泊2日で「霧ヶ峰八島湿原と塩嶺小鳥の森」への探鳥会へ参加致しました。昨年末に初めて探鳥会に出席したピカピカの1年生の私が参加しても良いのかな？迷いましたが行きたい一心で申込みました。

当日の八島湿原は晴れ曇りの丁度良いお天気の中、木道を進んで行くとモズやウグイス、イカル等・・・声はしますが姿は見つけれられません。望遠鏡を覗かせて頂くと茶色の胸が印象的なノビタキの姿が有りました。ここは標高1,640mの地点ですが池には カルガモが2羽。こんな高地にも生息してるなんて・・・愛おしく思えました。コースを進めて行くとカッコウの声が！高い木の上に姿も確認。その後もカッコウの囀りに包まれながら湿原を後にしました。

2日目は早朝よりホテルの周辺を散策し、ヒガラにコムクドリ、キビタキ、アオバト等・・・声



クルミをほおぼるニホンリス 撮影：中西章

は聞けましたが姿が確認できたのはジョウビタキでした。私は朝靄の中アカゲラのドラミングの響きがとても心に残りました。朝食後は塩嶺小鳥の森へ。緑が深まっていて囀りは聞こえても姿を見つけるのは難しかったのですがニホンリスがクルミを美味しそうに頬張る所をゆっくりと見せてくれて感激しました。

最後になりましたがこの旅で皆さんの野鳥の知識の深さには感心しきりでした。また、それぞれの地で珍しい木々や花を目にしました。

「これは何かなあ？」と呟くと答えを返して下さる植物博士。昆虫博士もみえて今迄私には見えていなかった物、聞こえていなかった事を皆様からたくさん教えて頂きとても楽しい充実した時間を過ごせました。どうもありがとうございました。これからも学ばせて頂きたいのでどうぞよろしくお願い致します。



霧ヶ峰八島湿原の木道

## サンショウクイの営巣記録



志摩市 濱屋 勝則

志摩市磯部町上之郷にて

2022年5月22日から6月28日まで観察。

- 5月22日 伊雑宮駐車場にてサンショウクイ2羽が飛んでいるのを発見。駐車場にてクスノキの枝に1羽がとまっている。枝の股に作り始めたばかりの巣を発見。
- 5月24日 地衣類やクモの巣を運び巣作りに専念中。
- 5月25日 巣を出来上がったが今日はその巣に親鳥がやって来ない。
- 6月2日 メスが巣に座っているのを発見。
- 6月13日 抱卵も終盤。
- 6月16日 親が巣の上でもぞもぞと奇妙な動きをしている。
- 6月17日 雛確認。
- 6月22日 雛4羽を確認。
- 6月26日 給餌が見られた。
- 6月27日 もう1羽小さな雛を確認。  
夕刻時に5羽が巣に居る。



サンショウクイの雛への給餌

- 6月28日 昨夕には5羽見られたが今朝はすべての雛の姿が無い。一夜の内に天敵に襲われた可能性が疑われる。巣立ちも近い内と思われたが残念な結果になった。

## 理事会報告



2022年6月26日(日) オンライン会議で実施

出席：11名 欠席：2名

### 【協議事項】

1. 経ヶ峰風力 準備書に意見を出した  
論点 風車規模の増大、ヤイロチョウ、クマタカ、サシバが繁殖
2. ナベヅル 飛来準備  
今年も飛来することを前提に、看板を立てることについて地元と話し合った
3. ホームページ改変 HP 管理体制  
Free talk の運営 問題ないか？
4. 今後 ガンカモ調査、ツバメねぐら、サギのコロニーなどの情報収集を試みる
5. 木曾岬干拓地環境整備事業第二期のアセスメント  
今年度で調査終了
6. 中部太平洋側でのチュウヒの繁殖の把握  
チュウヒサミットの開催を検討
7. フクロウ巣箱問題 今年成功 2か所  
さらに1か所は抱卵まで確認  
巣箱利用 チェック体制など検討課題あり
8. 宿泊探鳥会 特に問題はなかった  
20人前後で良かった  
来年度はどの地区が実施するか  
いままで、地区単位で担当してきたがどうするか  
担当については後日検討する
9. 県営鈴鹿青少年の森問題
10. ガンカモ2023 新規参加者を募る  
講習会(12月?)、識別マニュアル
11. 三重県レッドデータブック 鳥類のまとめ

### 【報告事項】

1. 三重県自然環境保全審議会
2. 違法飼育について報告
3. 鳥類目録 現在停止中 7月中旬に作業を再開

その他